

(分野1)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

農林水産業・食・地域へのポジティブインパクトの創出

本分野では、これまで蓄積してきた食農智を活用し、投融資や事業連携、そして新たなイノベーションの創出等を通じて、地域・そして自然環境の保全・発展に貢献し、農林水産業を持続可能な成長産業とするようステークホルダーと協働して取組みを進めることを目指します。

(課題1-1)

持続可能な農林水産業への貢献

(課題1-2)

安心・安全な食料供給への貢献

(課題1-3)

持続可能な地域コミュニティへの貢献

(課題1-4)

農林水産業の基盤としての自然環境の保全

(課題1-5)

ビジネスイノベーションの創出

本分野における具体的な取組み

「農業所得向上」に向けたコンサルティングの展開

「農業所得向上」に向けた道筋をつけるためには、農業法人等の経営者と十分に対話を重ねて事業の実態を理解したうえで、解決すべき経営課題を抽出・明確化し、共有することが大変重要です。当金庫では、農業所得向上と顧客満足度(CS)向上に向けコンサルティング機能を発揮しています。



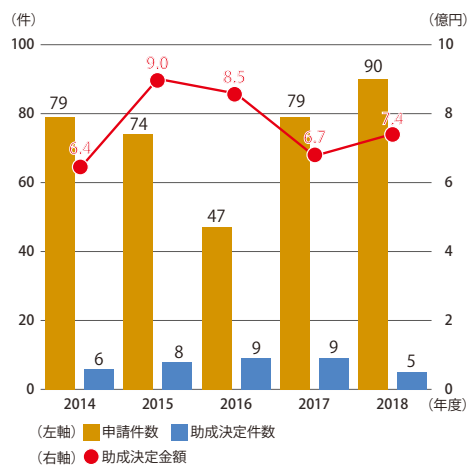
(分野1) 農林水産業・食・地域へのポジティブインパクトの創出

本分野における具体的な取組み

「農林水産業みらい基金」における農林水産業と地域活性化支援

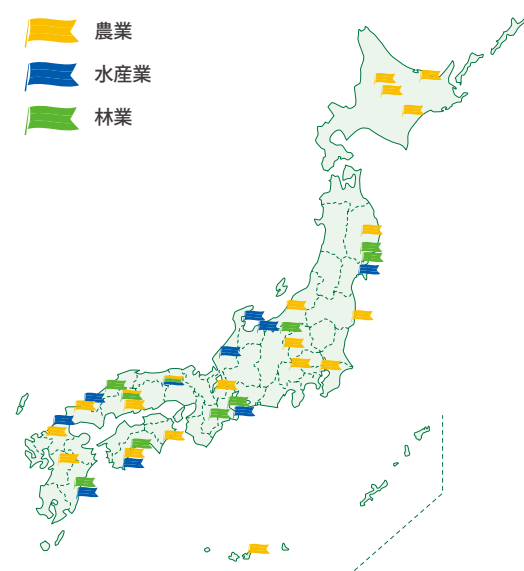
農林水産業みらい基金は、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫が200億円の基金拠出を行い、2014年に設立されました。農林水産業の「持続的発展を支える担い手」と「収益基盤強化に向けた取組み」、農林水産業を軸にした「地域活性化に向けた取組み」の支援を目的としています。

農林水産業みらい基金 助成対象事業件数・助成金額



※申請額ベースの金額であり、実際の助成金額と異なる場合があります。

農林水産業みらい基金 助成先



次世代の農業経営者を育成する日本農業経営大学校との連携

日本農業経営大学校は、次世代の農業経営者および地域農業におけるリーダー育成という目的のもと、農林中央金庫をメインスポンサーに、会員企業の応援を得て、2013年に設立されました。これからの農業に不可欠な「農業経営者の育成」という理念のもと、当校では、「経営力」「農業力」「社会力」「人間力」の4つをテーマに全人格的な教育を実践しています。



(課題1-1)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

持続可能な農林水産業への貢献

本課題の中期目標

食農ビジネスの取組みやステークホルダーとの協働により、持続可能な農林水産業の実現に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



食農ビジネスにおける取組み

- 農林水産業者向け融資・出資等を通じた金融支援
- 農林水産業者向け経営課題のソリューション提供
- 生産者・産業界・消費者をつなぐ食農バリューチェーン構築による産業発展支援
- 次世代の農業経営者を育成する日本農業経営大学校との連携
- 「公益信託 農林中金森森林再生基金(農中森力基金)」を通じた森林再生支援
- ウッドソリューション・ネットワークを通じた木材利用拡大等課題解決
- 「一般社団法人 農林水産業みらい基金」における農林水産業と地域活性化支援

食農ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(課題1-1) 持続可能な農林水産業への貢献

リテールビジネスにおける取組み

- 農林水産業を担う組合員・利用者向け金融仲介機能の強化
- 地域への資金循環を通じた農漁業の振興や地域活性化

リテールビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(課題1-2)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

安心・安全な食料供給への貢献

本課題の中期目標

組織として有する食農智を活かし、人々の豊かな食生活の実現に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



食農ビジネスにおける取組み

- 農林水産業者向け融資・出資等を通じた金融支援
- 農林水産業者向け経営課題のソリューション提供
- 生産者・産業界・消費者をつなぐ食農バリューチェーン構築による産業発展支援

食農ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(課題1-3)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

持続可能な地域コミュニティへの貢献

本課題の中期目標

農林水産業の基盤となる全国津々浦々にわたる地域での諸課題の解決と持続的な発展に向けて貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



食農ビジネスにおける取組み

- ・生産者・産業界・消費者をつなぐ食農バリューチェーン構築による産業発展支援
- ・食農教育活動支援、農業経営者向け育成支援
- ・「一般社団法人 農林水産業みらい基金」における農林水産業と地域活性化支援

食農ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



リテールビジネスにおける取組み

- ・組合員・利用者向けコンサルティング等を通じた家計資産拡大、次世代承継の支援

リテールビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(課題1-4)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

農林水産業の基盤としての自然環境の保全

本課題の中期目標

農林水産業の持続的な発展の前提となる、土壌、森林、河川、海洋などの自然環境の保全に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



食農ビジネスにおける取組み

- ・「公益信託 農林中金森林再生基金(農中森力基金)」を通じた森林再生支援

食農ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



リテールビジネスにおける取組み

- ・JFマリンバンクにおける「浜」の環境保全活動の取組みサポート

リテールビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(課題1-5)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

ビジネスイノベーションの創出

本課題の中期目標

新たな技術やビジネスモデルを創出する投資や事業連携により、農林水産業の持続的な発展に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



食農ビジネスにおける取組み

- ・ウッドソリューション・ネットワークを通じた木材利用拡大等課題解決
- ・出資枠等を活用した農林水産業の高付加価値化、国際競争力強化の支援

食農ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- ・スタートアップ企業支援を通じたビジネスイノベーションの創出
- ・デジタル実証実験を通じたデジタルイノベーションの推進

コーポレートの取組みにより貢献するSDGs



(分野2)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

責任ある金融の推進

本分野では、持続可能性を考慮した責任ある投融資を実施するとともに、農林水産業の基盤となる全国各地域での金融サービスの展開・維持に努めます。また、持続可能なエネルギーの利活用を目指した事業活動を実施します。

(課題2-1)

サステナブルファイナンスの推進

(課題2-2)

持続可能なエネルギー利活用への貢献

(課題2-3)

誰も取り残さない金融の実現

本分野における具体的な取組み

移動店舗車を全国に導入

JAバンクでは、貯金の入出金が可能で窓口端末を搭載した移動店舗車を全国で85台導入。主に店舗の少ない地域等で、地域住民の利便性向上に寄与しています。(2019年3月末現在)。

全国に配備された移動店舗車は、普段は店舗の少ない地域等のライフラインとして、有事には被災地への金融サービス提供手段として活用されます。JAバンクは移動店舗車を通じて、地域とのつながりを大切にしながら、お客さまにより一層の「便利」と「安心」をお届けしていきます。



(課題2-1)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

サステナブルファイナンスの推進

本課題の中期目標

環境・社会・ガバナンスに配慮した責任ある投融資を通じて、持続的な社会の実現に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



投資ビジネスにおける取組み

- セクター別融資方針を遵守した責任ある投資の実践

投資ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- TCFD提言を踏まえた気候変動への対応

コーポレートの取組みにより貢献するSDG



(課題2-2)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

持続可能なエネルギー利活用への貢献

本課題の中期目標

持続可能なエネルギーの利活用推進に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



リテールビジネスにおける取組み

- 再生可能エネルギーの需要拡大を踏まえた金融サービス提供

リテールビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(課題2-3)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

誰も取り残さない金融の実現

本課題の中期目標

国内過疎地域や経済的弱者を含めすべての人々が広く金融サービスを受けられる社会の実現に貢献する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



食農ビジネスにおける取組み

- 災害時における金融サービスの提供

食農ビジネスの取組みにより貢献するSDGs



リテールビジネスにおける取組み

- 移動店舗車、ネットバンク等多様なチャネルを通じた全国津々浦々での金融アクセス向上

リテールビジネスの取組みにより貢献するSDGs



(分野3)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

サステナビリティ経営の推進

本分野では、客観性・透明性の高い経営管理体制のもとで、事業活動を通じた環境・社会の持続可能性の確保に努めます。また高度な情報開示の実施に加えて、ステークホルダーのみなさま、有識者の方々と定期的に意見交換をすることにより、サステナブル経営の不断の検討・改善を重ねます。

(課題3-1)

透明性のある組織統治体制の確保

(課題3-2)

環境や社会に関するリスク機会の管理強化

(課題3-3)

ステークホルダーエンゲージメントの強化

本分野における具体的な取組み

TCFD提言への賛同

2015年12月に気候変動や地球温暖化対策の新たな枠組みである「パリ協定」が採択され、企業による気候変動への対応にかかる期待が高まっています。

2017年6月には、金融安定理事会(FSB)によって設置された気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)が、気候変動による財務的な影響を開示するための枠組みについて提言を公表し、当金庫も2019年4月に同提言の趣旨に賛同しました。



(課題3-1)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

透明性のある組織統治体制の確保

本課題の中期目標

客観性・透明性の高い経営管理体制の実現に向けて、不断に取り組む。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



(課題3-2)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

環境や社会に関するリスク機会の管理強化

本課題の中期目標

社会情勢やステークホルダーの声を踏まえたサステナブル重要課題の特定と、リスクや事業機会の検討を継続的に実施し、高度な情報開示を実現する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- TCFD提言を踏まえた気候変動への対応
- 投融資セクターポリシーの策定と見直し
- 適切な情報開示の実践

コーポレートの取組みにより貢献するSDGs



(課題3-3)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

ステークホルダーエンゲージメントの強化

本課題の中期目標

ステークホルダーとの対話を継続的に実施し、意見を反映させた当金庫らしい事業創出、社会貢献活動を展開する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- サステナビリティに関する有識者とのダイアログ
- ステークホルダーへのインタビュー
- 系統全国連合会、協同組合組織との連携強化

コーポレートの取組みにより貢献するSDGs



(分野4)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

高度な人財の確保

本分野では、農林水産業の成長産業化および持続可能性を確保するため、地域とグローバル両方の視点を備えた質の高い人財を育成します。また、職場においてはダイバーシティを浸透させ、多様な人材が活躍できる環境・風土を整え、組織の創造性・革新性向上に努めます。

(課題4-1)

ダイバーシティと機会均等の向上

(課題4-2)

人材育成の強化

本分野における具体的な取組み

次世代育成支援・女性活躍推進の取組み

当金庫は、仕事と育児の両立支援やワークライフバランスの実現などに取り組んでおり、男性職員による育児休業の取得も推進しています。このほか、新卒採用者に占める女性割合の向上に加え、女性職員キャリア開発フォーラムを開催し、女性職員同士のネットワーク構築も支援しています。

農林中央金庫における「仕事」と「家庭」の両立支援策



(課題4-1)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

ダイバーシティと機会均等の向上

本課題の中期目標

女性職員、障がい者、中高年も活躍できる包括的なダイバーシティ職場づくり、外部人財の活用・採用などに取り組む。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- 女性職員、障がい者、高齢者など多様な人財が活躍できる職場づくり

コーポレートの取組みにより貢献するSDGs



(課題4-2)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

人材育成の強化

本課題の中期目標

系統視点・グローバル視点に立ち、自ら強みを発揮し、果敢に挑戦できる質の高い人材を育成する。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- アクセラレータープログラム運営を通じたオープンイノベーション推進
- 職員のサステナビリティ意識の醸成

コーポレートの取組みにより貢献するSDGs



(分野5)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

金融機関の信頼基盤維持

信用・信頼を第一とする金融機関として、社会からの信頼を得て事業活動を行うために、役職員一人ひとりが高い倫理観をもって行動するよう努めます。働き方への関心が社会的に強まるなか、諸規制・法令に対応するとともに、コンプライアンスの諸課題に対し不断の取組みを重ねます。

(課題5-1)

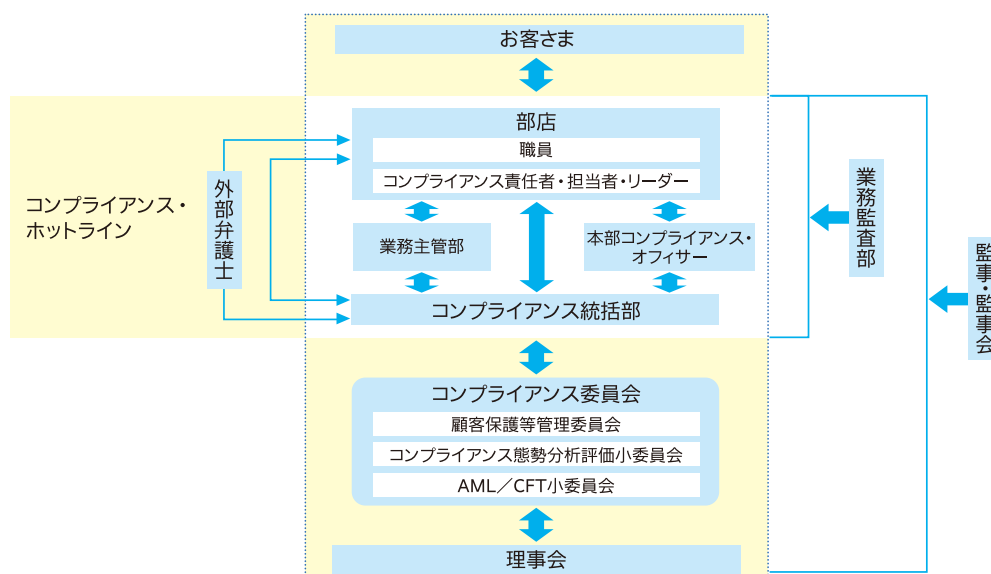
コンプライアンス態勢の更なる強化

本分野における具体的な取組み

| コンプライアンス

信用・信頼を第一とする金融機関にとって、コンプライアンス態勢の構築にとどまらず、継続的にその実効性を向上させていくことは特に重要です。当金庫は、社会情勢や経営環境の変化を踏まえ、基本的使命と社会的責任を果たし、お客さまや会員からの信頼にこたえるために、徹底した自己責任原則のもとで法令遵守等社会的規範に則った業務運営を行うとともに、ディスクロージャー(情報公開)とアカウンタビリティ(説明責任)による透明性を確保するよう努めることにより、コンプライアンスへの不断の取組みを重ねています。また、全役職員に「コンプライアンス・マニュアル」を周知し、業務運営や日々の行動がコンプライアンスに基づいて実践されることを目指しています。

コンプライアンス運営体制図



(課題5-1)

サステナブル課題の取組み(5分野14課題)

コンプライアンス態勢の更なる強化

本課題の中期目標

諸規則・法令などへの適切な対応、アンチマネー・ローンダリング、反社会的勢力排除、情報セキュリティ強化など、全社をあげてコンプライアンスの諸課題に不断に取り組む。

本課題への取組みにより貢献するSDGs



リテールビジネスにおける取組み

- JAバンク・JFマリンバンクにおける経営管理・内部統制の高度化

リテールビジネスの取組みにより貢献するSDGs



コーポレートにおける取組み

- マネー・ローンダリング、テロ資金供与対策はじめとするコンプライアンス態勢の強化

コーポレートの取組みにより貢献するSDGs

